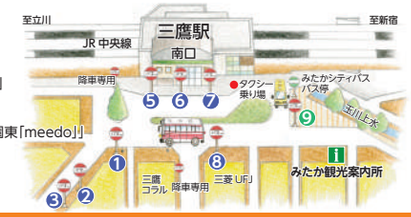
# Area 3 太宰治の足跡コース

Historic Footsteps of the Japanese Author, Dazai
太宰治的足迹
다자이 오사무의 발자취 코스

**三鷹駅からのアクセス**

◎太宰治のお墓がある禅林寺 11
停留所 5 鷹51「国際基督教大学、調布駅北口、調布飛行場、大沢/大沢十字路」
停留所 6 鷹52「神原記念病院/多摩駅、朝日町三丁目、車返団地」
停留所 7 鷹54「仙川/新川団地中央」鷹61「調布駅北口」鷹62「晃華学園東「meedo」」
停留所 3 鷹65「深大寺/神代植物公園前」
降車バス停▶「八幡前」(約5分)




## 太宰の足跡：全て訪れるコース　約6.7km　3時間コース

START 三鷹駅南口 —2分→ 1 太宰治展示室（滞在時間約15分） —10分→ 2 三鷹跨線人道橋跡ポケットスペース（滞在時間約15分） —10分→ 3 中鉢家跡 —5分→ 4 田辺肉店離れ跡 —3分→ 5 太宰治文学サロン（滞在時間約25分） —3分→ 6 野川家跡 —5分→ 7 小料理屋「千草」跡 —10分→ 8 玉鹿石 —15分→ 9 旧居跡のさるすべり —25分→ 10 新橋付近（滞在時間約15分） —20分→ 11 禅林寺 → GOAL 三鷹駅南口

## 太宰の足跡：お墓参りコース　約3.1km　1時間30分コース

START 三鷹駅南口 —2分→ 7 小料理屋「千草」跡 —2分→ 5 太宰治文学サロン（滞在時間約25分） —2分→ 4 田辺肉店離れ跡 —15分→ 11 禅林寺（滞在時間約15分） —20分→ GOAL 三鷹駅南口

## 太宰が暮らし歩き執筆し飲んだ三鷹を感じてほしい

Walk through Dazai's footsteps, where the literary legend drunk and devoted to his works
希望可以让您体验到太宰在三鹰生活，散步，写作，饮酒的感受
다자이가 생활하고, 걷고, 집필하고 술을 마셨던 미타카를 느껴 주시길

写真提供：日本近代文学館

作家太宰治は、1939年（昭和14）9月1日東京府北多摩郡三鷹村下連雀（現東京都三鷹市下連雀）に転居してきました。そして、1948年（昭和23）6月に自死するまでの9年間に、「走れメロス」「斜陽」「人間失格」などの作品を発表しました。
この『太宰治足跡コース』は、そんな三鷹時代を偲ぶよすがとしてガイドするものです。ゆかりの場所は形をとどめていませんが、太宰が暮らし歩き執筆し飲んだ三鷹を、時空を超えて感じていただければ幸いです。

### 1 太宰治展示室 三鷹の此の小さい家（三鷹CORAL 5F 三鷹市美術ギャラリー内）

Dazai Osamu Exhibit Room - This small house in Mitaka
太宰治展室 三鹰小屋遗址
다자이 오사무 전시실 미타카의 이 작은 집

太宰治の自宅を一部再現。「常設展示室」「企画展示室」「体験型展示室」に加え、縁側から太宰が描いた書画を眺められるスペースもある。

10:00～18:00　☎0422-79-0033
休館：月曜（月曜が祝日の場合は開館し、翌日と翌々日を休館）、年末年始 ※展示替えのための臨時休館あり
無料

傑作の多くは太宰の三鷹時代に生まれた。仕事部屋の跡地を訪ねてみよう！

### 3 中鉢家跡（現・藤和シティスクエア）

The Former Nakabachi Family Residence Site
中钵家旧址　나카바치가(中鉢家)터(현 도와 시티스퀘어)

太宰治が疎開先金木町から三鷹に帰り、最初に仕事部屋としたところで、「朝」に登場する。ここでは「メリークリスマス」「ヴィヨンの妻」を執筆した。

### 4 田辺肉店離れ跡（現・ムサシ三鷹ビル）

The Former Tanabe-Nikuten's Annex Site
田边肉店分馆旧址　다나베 정육점 별채 터

太宰治は神奈川県下曽我雄山荘の太田静子の元を訪れ、日記を借りて伊豆の三津浜「安田屋旅館」で「斜陽」を起稿する。ここは、2番目の仕事部屋で第3章以降を書き上げた。「犯人」は、田辺肉店が舞台となっている。

### 6 野川家跡（現・永塚葬儀社）

The Former Nogawa Family Residence Site
野川家旧址　노가와가(野川家)터(현 나가쓰카(永塚) 장의사)

美容師山崎富栄が、三鷹駅前の美容院で働くため下宿した場所。太宰治が1947年（昭和22）の初秋から仕事部屋にした場所。2人は遺書を置き、遺品を片付け、1948年（昭和23）6月13日未明、玉川上水に・・・。

### 7 小料理屋「千草」跡（現・Brillia MITAKA）

The Former Diner Site, Chigusa
小饭馆“千草”旧址　일식 요리집 '지구사(千草)' 터

作家仲間・編集者との打合せの場所でもあった小料理屋。2階を仕事部屋にもした。太宰治の行方不明後は捜索本部となり、遺体発見後は検死場所となった。主人鶴巻幸之助さんは、桜桃忌の御世話をしていた。

### 2 三鷹跨線人道橋跡ポケットスペース

Mitaka Rail Footbridge Memorial Space
三鹰跨线天桥故址口袋空间
미타카 과선인도교 터 미니 스페이스

1929（昭和4）年～ 2023（令和5）年まで設置され、太宰治が好んで訪れた場所としても知られていた三鷹跨線人道橋の南側階段跡地に、2026（令和8）年開設。人道橋に使用していた部材や太宰治にまつわる展示等を設置している。

**三鷹市桜井浜江記念市民ギャラリー**
太宰治がたびたび訪れた画家、桜井浜江のアトリエ跡地がギャラリーになっています。
10:00～18:00（展示会によって時間が異なる場合があります）
☎0422-29-9868（三鷹市公会堂）
月曜休館（月曜が祝日の場合は開館し、翌日と翌々日を休館）

### 5 太宰治文学サロン

Dazai Osamu Literary Salon
太宰治文学沙龙
다자이 오사무 문학살롱

“太宰が生きたまち三鷹”の拠点となり、情報交流と発信の場そして市民の交流の場となっている。太宰が通った酒屋「伊勢元」の跡地に2008年（平成20）3月、開設され、2022年（令和4）3月にブックカフェ機能を追加しリニューアルした。
10:00～17:30 ☎0422-26-9150
休館：月曜（月曜が祝日の場合は開館し、翌日と翌々日を休館）、年末年始　無料

### 8 玉鹿石

Gyokkaseki
玉鹿石
옥록석(玉鹿石)

太宰治と山崎富栄が入水した場所の近くに設置。太宰治は玉川上水を散歩する時、滝のような流れだったこの場所が好きだった。よく編集者や作家仲間を連れてきていた場所。故郷金木町（現：五所川原市）産の玉鹿石が置かれている。

### 10 新橋付近

Shinbashi Bridge Area
新桥周边
신바시(新橋) 부근

当時の玉川上水は「人食い川」と呼ばれるほど急流で水量も多く、太宰治と山崎富栄の捜索は、多摩川羽村の取水口で取水制限をして行われた。そして、上水に架かる新橋付近で、紐で結ばれた2人が発見された。奇しくも太宰治の誕生日6月19日だった。

### 11 禅林寺（黄檗宗）

Zenrinji
禅林寺
젠린지(禅林寺)（황벽종）

1700年（元禄13）創建の禅寺。「花吹雪」に「この寺には森鷗外の墓がある。（中略）墓地は清潔で鷗外の文章の片影がある。私の汚い骨もこんな小綺麗な墓地の片隅に埋められたら、死後の救いがあるかもしれない・・・」と書かれていることから、ここに眠ることになった。
太宰治の墓の前に森鷗外（林太郎）の墓がある。

### 9 旧居跡のさるすべり

A crape myrtle
故居旧址的海棠树
옛집터의 백일홍

三鷹市の和風文化施設「みたか井心亭（せいしんてい）」に、太宰治旧居の門柱わきに植えられていた「さるすべり」が移植されている。「おさん」には、この「さるすべり」が登場する。

## 広告 コース沿いのお薦めの店

### A 珈琲 松井商店　喫茶

珈琲松井商店の前身の松井商店（酒・たばこ店）には太宰もよく買い物に来ていました。太宰を主人公にしたオリジナルのDazai COFFEEは厳選した豆を最新式の自家焙煎機でブレンド。深くビターな味わいをお楽しみください。

11:00～18:00
(LO17:30)
水・木・日曜定休
三鷹市下連雀
2-16-9
☎0422-47-2303

### B Rose&M　レモンケーキ・焼き菓子、珈琲紅茶、雑貨販売

焼きたてスコーン、三鷹の平飼い卵を使ったレモンケーキ、自家焙煎のコーヒー、オリジナルブレンドの紅茶を揃えております。

11:30～19:00
水曜定休
三鷹市下連雀4-17-10
ひだりまきビル1F
☎0422-26-8670
https://www.roseandm.com